

## 事務局だより ● 3月号

陽春の候、朝に春霞立ち込め・・そこかしこに花の彩りを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。例の突然の報道から1ヶ月が過ぎようとしています。行事や会議がことごとく中止となり、先日は上不動区の「新兵衛さんまつり」中止の一報も入って来ました。新兵衛さんには今年特に思うところがあり、「行事がなくてもいらっしやい」と呼ばれたような気がして

(実に自己中心的な！)、大茶樹～吉村新兵衛翁<sup>おう しょうとくひ</sup> 頌徳碑(の入口)～シャクナゲ園を訪ねてみました。シャクナゲ園・宮田さんの奥様は「世の中こんな雰囲気になって、花を見に来てなんて言ってよかろうか？」と不安な様子でした。「こんな時だからこそ、花や山を見たら元気になりますよ。」私はすかさずそう答えました。「そうね、じゃあ旗を立てようかね。」

見上げれば、数段上で作業の手を止めたお父さんが何か言っています。大きく手を振って挨拶しました。ありがとう・・元気を頂いてまた頑張れそうな気がして事務所に戻りました。



・・程なく、お客様と歴史ガイド本を読む機会があり、史跡

談義に花が咲きました。「新兵衛さんのあの急坂、どうにかならないの？」

「ハイヒールの角度次第でラクになるんじゃない？」そこで坂の角度を30度と仮定、ルート2の公式に当てはめていくと・・。高さ12.5cmのヒールであの急坂を緩やかに登ることができるとはじき出せたのです。

なんとアカデミックで画期的な会話なんだろうと感動したのも束の間、「但し下りは歩けない！転ぶ！」



大茶樹



斯くして、身を乗り出して聞き耳を立てていたでしょう新兵衛さんも転んでしまいそうなオチと相成ったのでした。

いずれにしろ、ものは考え様、どんな苦境でもユーモアを忘れずに過ごせたら素敵ですね。



←千室神社越し

に望む虚空蔵山

下不動区・平野渡→



そこでこの春、花を愛でながら轟・大野原地区の名所旧跡を巡ってみてはいかがでしょうか。丁寧に手入れされた大茶樹やシャクナゲ園でホッと、一方でのどかな小川にまつわる切ない昔話に想いを馳せたり。

もうしばらくすれば、俵坂あたりから嬉野市街へと進む際、国道34号線周辺のれんげ畑のじゅうたんに目を奪われると思います。これもひとえに、田畑の管理や年間を通しての農作業にご尽力頂いている皆様あつての景観です。心より感謝申し上げます。



クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

花言葉：いたわり、追憶

撮影場所：上不動区宮田

英敏様方 (3/20)

